

夏 ぐろも

水町 京子

日蓮 空海 ますらをのこのいづくはかく

しあれこそ仰ぎてたのし

をみなごはいかにか生きむ一念の凝りてまよ

へば蛇身となるも

x

うつし身のあせあかあがらいとはしきおもむ

つのはば死も安きごとし

高山の湖ウミの面モにてる月よみのまよき老はわれ

をしなむ

ひとたむ捨てし命、餘命をりきて

いたたむ着る日なけむとた、みたるふとへ羽

縁をとりいたすなり

うつしみにのころ命のそこはくをあらわむて

まゝ夏さうりにけり